○網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI　検証方法一覧表

基本目標	基本方針	基本的な方向性	具体的な施策	KPI 目標	KPI 結果	確認時期	確認方法	担当課
1	＜基本目標1＞ 若い世代を中心として、安心して働くための産業振興と雇用の場の創出			市内事業所の従業員数：16474人→16,000人	－	H29	経済センサスによる （5年毎の調査）	商工労働課
	産業振興策の構築	地域産業の競争力を強化する取組	ブランド化と高付加価値化	食品製造業の付加価値率：19.5%→23.2%	－	H29.5頃	経済産業省工業統計の結果による （毎年※国勢調査実施年は行わない）	商工労働課
			強い農林水産基盤の形成					
			中心市街地と網走川周辺のにぎわい創出	中心市街地通行者数 ・平日6,592人→9,000人 ・休日4,008人→6,500人	・平日　4752人 ・休日　1,680人	H27.10	交通量調査による。休日の調査が悪天候の状況で行われた	商工労働課
		国内外への販路拡大	販路拡大に向けた支援	HACCP認定施設保有企業数 ・ホタテ製品：4社→5社 ・サケ製品：1社→4社	・ホタテ製品：4社 ・サケ製品：1社	H28.3	厚生労働省、水産庁ホームページにて確認	水産漁港課
				海外輸出量 ・長いも：500t、2億円/年→1,000t、4億円/年 ・その他農産物：0円/年→1億円/年	・長いも ：300t、1億2千万円 ・その他農産物：0円	H28.3	JAオホーツク網走に確認	農政課
				輸出相手国：5カ国→7カ国	2カ国	H28.3	JAオホーツク網走に確認	農政課
			網走港の活用	網走港からの移・輸出入貨物取扱量・金額 ・取扱量：37万t/年→41万t/年 ・金額：5億円/年→7億年/年	・H28貨物取扱量 ：39.8万t ・H28貿易額 ：7億3千万円	H29年2月末 （速報値）	・貨物取扱量については、毎年、港湾統計として、1月～12月（暦年）の取扱量を翌年の2月末に北海道に報告している。 ・貿易額については、毎年、函館税関貿易速報として、1月～12月（暦年）の金額が1月末に公表されている。	港湾課
		地域特性を活用した新エネルギーの利用や企業誘致の促進	再生可能エネルギーの利用促進	大規模発電の誘致件数：2施設→4施設	3施設	随時	企画調整課調べによる	企画調整課
			省エネルギー・新エネルギーの普及					
			企業誘致の促進	企業誘致件数/雇用数 ・企業誘致件数：0件→2件 ・雇用数：0人→20人	0	H28.3	年度末の結果による	商工労働課
	多様な就労環境の創出	若い世代を中心とした就労機会の拡大	若者の就労促進	高校卒業者市内就職率：60%→65%	55.3% （42人/76人）	H28.7	網走市進路状況調査による	商工労働課
			女性の就労促進	女性の就労割合：41.1%→43%	－	H29.3	網走市労働実態調査による（隔年）	商工労働課
			障害者やシニア世代の就労促進	シルバー人材センター会員数：358人→428人	364人	H28.4	シルバー人材センター会員実績	商工労働課
			若者や女性を含めた起業化・事業化、新製品創出支援	市と会議所が支援した起業・創業数：9社→50社	3社	H28.4	創業者実績	商工労働課
			U・Iターンの推進	定住する協力隊員数：0人→6人	0人	随時	企画調整課調べによる	企画調整課
2	＜基本目標2＞ 観光や健康・スポーツなど網走の地域特性を生かした交流人口の拡大			観光入込客数 ：141万5千人/年→170万人/年	153万人	H28.5	観光客入込調査による	観光課
	交流人口の拡大	「”おいしいまち”網走」のブランド化	観光素材・商品のブラッシュアップ	観光客の入込客数/宿泊客数 ・入込客数：141万5千人/年→170万人/年 ・宿泊客数：35万9千人/年→50万9千人/年	・入込客数：153万人 ・宿泊客数：37万4千人	H28.5	観光客入込調査による	観光課
			天都山エリアの魅力構築	天都山周辺施設入込客数 ：36万8千人/年→49万人/年	44万人	H28.5	観光客入込調査による	観光課
			体験型観光の促進	観光客の入込客数/宿泊客数 ・入込客数：141万5千人/年→170万人/年 ・宿泊客数：35万9千人/年→50万9千人/年	・入込客数：153万人 ・宿泊客数：37万4千人	H28.5	観光客入込調査による	観光課
			「”おいしいまち”網走」のPR					
		スポーツ・芸術文化を切り口とした交流人口の拡大	スポーツ・芸術文化合宿の推進と、大会・会議の誘致促進	合宿参加人数 ・スポーツ：1,735人/年→2,000年/年 ・文化：177人/年→300人/年	・スポーツ：1,753人 ・文化：140人	H28.3	社会教育課が部取りまとめ確認	スポーツ課 社会教育課
			新たなスポーツイベントなどの創出	合宿及びスポーツ・ツーリズムによる経済波及効果 ：5億5,450万円/年→7億2,830万円/年	7億2,798万円	H28.3	社会教育課が部取りまとめ確認	スポーツ課
		マーケット視点に立った観光客の誘致拡大	広域連携による国外観光プロモーション展開	外国人宿泊客数：3万1千人/年→6万人/年	3万5千人	H28.5	観光客入込調査による	観光課
			観光客の利便性向上					

3	＜基本目標3＞ 若い世代が健康で、希望に応じて結婚・出産・子育てができる環境づくり			合計特殊出生率：1.51→1.65	・H25：1.90 ・H26：1.44 ・H27：1.64	H31.3	健康管理課しらべによる ※単年の数値は毎年3月に確定	健康管理課
	結婚・妊娠・出産・子育てについて切れ目ない支援	結婚・出産の意識改革	結婚・出産・子育てに関する学習機会の提供	出会いの場の創出数：3回/年→6回/年	3	H28.3	関係課に聞き取り	企画調整課
			出会いの場の創出					
		周産期・小児医療の確保	周産期・小児医療提供体制の充実	産科・小児科医療機関数 ・産科：2施設→2施設 ・小児科：4施設→4施設	・産科：2施設 ・小児科：4施設	H28.3	健康管理課しらべによる	健康管理課
			感染症予防対策の実施	子どもインフルエンザ予防接種率 ：70.40%→75.00%	67.45%	H28.3	健康管理課しらべによる	健康管理課
		出産・子育ての負担の軽減	子育て世帯への支援	病後児保育対応保育所数：0施設→1施設	0施設	H31.3	31年度稼働予定	子育て支援課
			妊婦・乳幼児の健診、相談等の実施	合計特殊出生率：1.51→1.65（H20-24）	・H25：1.90 ・H26：1.44 ・H27：1.64	H31.3	健康管理課しらべによる ※単年の数値は毎年3月に確定	健康管理課
			不妊治療・不育症に対する支援					
	ワーク・ライフバランスの実現	学習機会の提供と実践	子育て世代への学習機会の提供	子育てがしやすいと感じる割合：56.4%→65.0%	―	H31.3	子ども子育て支援事業計画策定に当たっての市民アンケート調査（5年毎の調査）	子育て支援課
			子どもと子育てについての意識改革の推進					
	若い世代が安心して働ける場の確保	雇用の場の創出と就労支援	ブランド化と高付加価値化の推進（再掲）					
			若者や女性を含めた起業化・事業化、新製品創出支援（再掲）					
			若者の就労促進（再掲）					
4	＜基本目標4＞ 東京農業大学、日本体育大学などと連携し、みずから学び「明日をひらくひと」の育成			全国学力調査の全国平均正当率との差 ・小学生：△3.3ポイント→全国平均 ・中学生：△4.3ポイント→全国平均 全国体力調査の全国平均点との差 ・小5男子：△2.71点→全国平均 ・小5女子：△3.75点→全国平均 ・中2男子：△3.39点→全国平均 ・中2女子：△9.23点→全国平均	学力調査結果 ・小学生：△2.3 ・中学生：△3.7 全国体力調査 ・小5男子：+1.5点 ・小5女子：△0.5点 ・中2男子：△2.2点 ・中2女子：△6.7点	H28.8 H28.12	全国学力・学習状況調査 全国体力・運動能力、運動習慣等調査	管理課
	東京農業大学や日本体育大学附属高等支援学校との連携	東京農業大学との連携	地元に定着する人材の確保	農大卒業就職者の市内就職者数 ：8人/年→16人/年	8人/年	H28.7	網走市進路状況調査による	商工労働課
			調査・研究機関の交流促進	調査・研究などの連携事業数：4件/年→5件/年	4件	随時	水産漁港課調べによる	農政課 水産漁港課
			地域連携センター機能の検討	地域連携センターへの参加自治体数 ：0自治体→5自治体	0件	随時	企画調整課調べによる	企画調整課
		日本体育大学附属高等支援学校との連携	学校設立などに関する支援	雇用創出数 ・教職員：5名→55名 ・他職員：0名→15名	・教職員→14名 ・他職員→0名	H28.5	日体大に聞き取り（4月1日時点雇用数）	日体大準備室
			障がい者教育・雇用の支援	障がい者雇用の促進 ・就労者：94名→103名 ・受入事業所：38所→42所	―	H29.3	KPIは平成26年度の網走市労働実態調査に おける就労者数、受入事業所数としています。 調査は2年に1回で、次は、平成28年度実	社会福祉課
			日本体育大学附属高等支援学校による市民スポーツ活動への支援					
	多様な人材の確保	大都市圏などからの人材確保	多様な知識・経験を有する人材の還流	定住する協力隊員数：0人→6人	0人	随時	企画調整課調べによる	企画調整課
		人材の育成・確保	多様な人材の育成・確保	食の6次産業化プロデューサー育成：1人→25人	5人	H28.5	東京農大に聞き取り	企画調整課
	子どもの学力・体力向上の推進	子どもの学習環境の充実	子どもの基礎学力や体力などの増進	全国学力調査の全国平均正当率との差 ・小学生：△3.3ポイント→全国平均 ・中学生：△4.3ポイント→全国平均 全国体力調査の全国平均点との差 ・小5男子：△2.71点→全国平均 ・小5女子：△3.75点→全国平均 ・中2男子：△3.39点→全国平均 ・中2女子：△9.23点→全国平均	学力調査結果 ・小学生：△2.3 ・中学生：△3.7 全国体力調査 ・小5男子：+1.5点 ・小5女子：△0.5点 ・中2男子：△2.2点 ・中2女子：△6.7点	H28.8 H28.12	全国学力・学習状況調査 全国体力・運動能力、運動習慣等調査	管理課
			ICTを活用した授業の推進	読書が好きな児童・生徒の割合 ・小学生：60%→70% ・中学生：69%→75%	・小学生69.4% ・中学生70.3%	H28.8	全国学力・学習状況調査	管理課
			多様な学習の場の創出	子どもの学習の場の参加者数 ：696人/年→800人/年	563人	H28.3	社会教育課が部取りまとめ確認	社会教育課
	社会教育の推進	市民の学びの場の充実	網走の地域資源や歴史・文化を学ぶ機会の創出	市民対象講座の参加者数 ：2,600人/年→3,000人/年	3,478人	H28.3	社会教育課が部取りまとめ確認	社会教育課
			生涯スポーツの推進					

5	＜基本目標5＞ 支え合い、安心して暮らすことができる共生型地域社会づくり			健康寿命 ・男性：78.43歳→79.34歳 ・女性：83.06歳→84.19歳 人口の維持：39,811人→38,616人 生活習慣病罹患率：22.71%→19.98%	健康寿命 ・男性：78.33歳 ・女性：82.61歳 人口の維持：38,966人 ※H27国勢調査速報値 生活習慣病罹患率：20.97%	H27.12	関係課に聞き取り	健康管理課
	住み慣れた地域で安心して暮らせる基盤整備	安全・安心なライフラインの構築	インフラの戦略的な予防保全	橋梁補強・浸水対策完了率 ・橋梁補強：33%→100% ・浸水対策：23%→100%	・橋梁補強：33%→33% ・浸水対策：23%→35%	H28.3	都市開発課発注進捗調べによる	都市開発課
			防災体制の強化	自主防災組織の組織率：54→70%	63%	随時	市民課調べによる	市民課
		健康寿命の延伸	生活習慣病などの予防対策	特定健康診査受診率：24.1%→60.0% 生活習慣病罹患率：22.71%→19.98%	・受診率24.1%→25.1% （H27速報値） ・罹患率22.71%→20.97% （H27）	H27.11	・3月レセプトの「糖尿病」「高血圧症」「高脂血症」の診療件数割合の合計値を罹患率とする。 ・特定健診受診率法定報告期日：11月1日	保険年金課
			休日・夜間の救急医療の確保	休日救急体制の対応日数：72日/年→72日/年 看護師数：608人→647人	・休日救急体制72日/年	H27.12	医師会、関係医療機関に聞き取り	健康管理課
			高齢者や障害者が暮らしやすいまちづくり	高齢者の社会参加の割合：23%→40%	ー	H30.3	次期（平成30年3月）、網走市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定時に実施予定のアンケート調査結果において確認（3年毎）	介護福祉課
			日本版CCRCの検討					
	小さな拠点づくりを結ぶコンパクトシティの推進	コンパクトシティの推進	コンパクトシティの実現に向けた取組	住み替え用高齢者公営住宅整備戸数 ：0戸→10戸	0戸	H28.3	建築課調べによる	建築課
		小さな拠点の強化	地域コミュニティーの強化	高齢者相互支援推進啓発員数：27人→100人	62人	H28.3	社会福祉協議会調べ	介護福祉課
	公共施設などのマネジメント強化と住環境づくりの推進	公共施設などのマネジメント強化	公共施設などの計画的な管理	公共施設等の総面積の縮小： 319千㎡→303千㎡	－	H29.10	公共施設等総合管理計画(H28.11策定)に基づき、固定資産台帳の年度更新時に確認	財政課
			公共施設などの環境改善の推進	多機能トイレ数／洋式化率 ・多機能トイレ：7→9 ・洋式化率：46%→60% 耐震化実施率：94.8%→100%	・多機能トイレ ：9ヶ所 ・洋式化率 ：57.0% ・耐震化実施率 ：97.4%	H28.3	多機能トイレ：改修工事完了による 洋式化率：改修工事完了による 耐震化実施率：耐震診断完了による	建築課
		住環境の提供	空き家対策の推進	空き家バンク登録数／空き家の利活用件数 ・空き家バンク：0件→10件 ・空き家利活用：0件→8件	・空き家バンク ：0件 ・空き家利活用 ：0件	H28.3	建築課調べによる	建築課
			住環境の改善	省エネ住宅新築戸数/バリアフリー改修戸数 ・省エネ：27戸/年→34戸/年 ・バリアフリー：13戸/年→20戸/年	・省エネ ：25戸/年 ・バリアフリー ：8戸/年	H28.3	省エネ：省エネ住宅新築促進事業実績 バリアフリー：住宅リフォーム資金融資制度及び住宅改修支援事業実績	建築課
	地域間連携施策の推進	定住自立圏等の地域間連携の推進	定住自立圏による地域間連携の推進	生活交通バス路線数：7路線→7路線	7	H28.3	平成27年度末実績	商工労働課
			その他の広域連携の推進	救急医療体制の対応日数：365日/年→365日/年 救急搬送疾病程度軽傷割合：37.1%→35.0%	・救急医療：365日/年 ・軽傷割合：38.3%	H28.3	医師会、消防本部に聞き取り	健康管理課

○国地方創生交付金に係るKPI　検証方法一覧表

所管課	国交付金申請事業	市事業名	KPI		確認時期	確認方法	備考
			目標	結果			
企画調整課	ふるさと応援隊推進事業	ふるさと応援隊推進事業	あばしり応援隊の事業所数：5事業所	5事業所	3月末	企画調整課しらべによる	
	6次産業化プロデューサー育成事業	6次産業化プロデューサー育成事業	オホーツク・ものづくりビジネス創成塾卒業生：5人	11人	3月末	東京農大に聞き取り	
	地方創成総合戦略策定事業	地方創生総合戦略策定事業					
健康管理課	健康都市づくり推進事業	健康都市づくり推進事業	飲食店協力店：10店舗 健康づくり講座受講：60人	協力店：8店舗 健康づくり講座受講：59人	3月末	健康管理課しらべによる	
農政課	次世代農業後継者対策事業	次世代農業後継者対策事業	参加農業後継者等人数：延べ25人	18人	3月末	農政課しらべによる	
	地場産品販路拡大・基盤強化事業	地場産品海外輸出促進事業	地場産品の輸出量：500t 地場産品の輸出金額1.5億円	地場産品の輸出量：300t 地場産品の輸出金額：1.2億円	3月末	JAに確認	
		オホーツク産小麦消費拡大事業					
		機能性農産品開発調査事業					
		スマート農業推進事業					
		狩猟免許取得支援事業					
商工労働課	大都市圏販路開拓支援事業	大都市圏販路開拓支援事業	商談会参加企業：4社 物販参加企業：4社	商談会参加企業：3社 物販参加企業：3社	H28.2	大阪物産事業（H27.6）、商談会（H28.2）参加実績	
	広域連携企業誘致セミナー事業	広域連携企業誘致セミナー事業	セミナー参加企業：50社	63	H27.10	セミナー参加企業実績	
観光課	国外観光客誘客促進事業	外国人観光客等受入人材育成事業	観光入込客数：152万人	153万人	H28.5	観光客入込調査による	
		観光施設案内板等整備事業					
		あばしり観光国外プロモーション事業					
	国内観光客誘客促進事業	観光圏地環境整備事業	観光入込客数：152万人	153万人	H28.5	観光客入込調査による	
		天都山エリア魅力構築事業					
		施設巡り観光バス試験運行事業					
		おいしいまち網走観光素材開発支援事業					
		あばしり観光国内プロモーション事業					
		ニポネ応援プロジェクト事業					
		流氷あばしり観光PR事業					
管理課	小中学校学力向上対策事業	小中学校学力向上対策事業	算数・数学の勉強が好きな児童生徒の割合 ：小学校62% ：中学校55% 算数・数学の授業内容が分かる児童生徒の割合 ：小学校79% ：中学校74%	好きな児童生徒の割合 ：小学校68.5% ：中学校48.7% 分かる児童生徒の割合 ：小学校83.2% ：中学校71.2%	H28.8	全国学力・学習状況調査	
スポーツ課	スポーツ合宿誘致強化事業	スポーツ合宿誘致強化事業	プロモーション実施チーム数：20チーム	33チーム	3月末	スポーツ課しらべによる（陸上、ラグビー等）	
タイプⅠ							
観光課	ひがし北海道空港連携海外観光客誘致事業	ひがし北海道空港連携海外観光客誘致事業	全道の外国人延べ宿泊者数に占める道東の外国人延べ宿泊者数の割合：8.3%	7.2（H27上半期）	9月	観光入込客数調べによる	
タイプⅡ							
商工労働課	U・Iターン促進事業	U・Iターン就職促進事業	農大卒業生を含めた市内就職者数：56名	50名	H28.7	網走市進路状況調査による	
建築課		空き家バンク推進事業					
企画調整課		首都圏PR事業					

地方創生加速化交付金事業一覧

番号	事業名	事業内容	予算額	KPI（H32．3）
1	網走市生涯活躍のまち（CCRC）構築推進モデル事業	・網走版CCRC構想の検討 ・東京農大が実施する「創成塾」への支援	9,000,000	・首都圏など市外からの社会人受入数：0人→20人 ・研究成果（地域還元策）の提言：0本→１７本 ・網走版CCRC構想の策定（H30.3成案）
2	新たな「まちづくり会社」による地域商社機能の強化とものづくりに対する総合支援体制の構築事業	・ラルズ跡地でのイベントの開催 ・まちづくり会社設立の検討	14,700,000	・まちづくり会社の設立（H29.3） ・中心市街地通行者数：平日6,592人→9,000人 休日：4,500人→6,500人
3	大学と連携した地場産品の輸出促進と高付加価値化推進事業	・輸出促進のための海外トップセールス（タイ） ・長いもの機能性に係る研究委託 ※大空町との連携事業	22,900,000	・機能性農産物加工品の製品化・産業化：0件→3件
4	地元大学を核としたインターンシップの活用による就労機会の創出と若者定着推進事業	・インターシップの受入 ※大空町との連携事業	2,200,000	・インターンシップ生のオホーツク地域就労：0人→4人
5	ひがし北海道空港連携海外観光客誘致事業	・チャーター便誘致に係るトップセールス ※釧路市、帯広市との連携事業	6,000,000	・外国人宿泊客数：31千人→60千人 ・観光客入込客数1,415千人→1,700千人

平成２９年度

ことしの まちづくり

網走市予算の概要

部　　名	頁
企画総務部	1 ～ 2
市　民　部	3 ～ 6
福　祉　部	7 ～ 9
経　済　部	10 ～ 13
観　光　部	14 ～ 15
水産港湾部	16 ～ 17
建　設　部	18 ～ 19
学校教育部	20
社会教育部	21 ～ 22
水　道　部	23

※国の補正予算を活用し実施する事業は平成28年度補正予算となるため、新規（補正）と表記しています。

企画総務部のことしのまちづくり

生　活　安　全

①防災諸費　《総務課》

・土砂災害ハザードマップの作成

１１１万円

道が指定する土砂災害警戒区域等の土砂災害ハザードマップを作成し、地域住民等に配布します。

・避難所運営研修事業　　新 規　**６１万円**

防災意識の向上と防災活動を推進するため、町内会等に避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）を利用した防災研修を実施します。

・防災備蓄品の整備　　**５５２万円**

災害発生に備え、小中学校に食料や資機材などの備蓄、整備を行います。

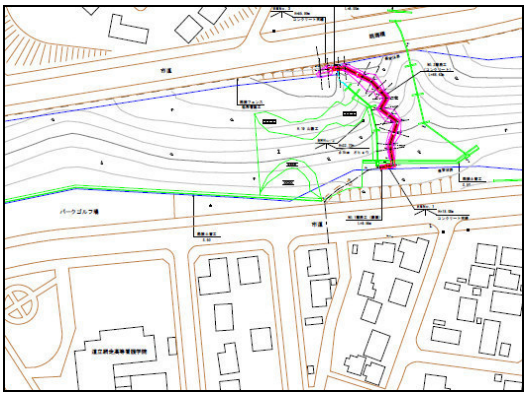
・冬季の避難所停電対策　　**２１５万円**

冬季の停電対策用として、小中学校にストーブなど資機材の備蓄、整備を行います。

・津波避難路整備事業　新 規　**１，７２０万円**

道が整備した治山施設管理用階段を津波災害時に避難階段として利用するため、階段へ接続する避難路を整備します。

北山通りと向陽通りを結ぶ避難路になります。



男女共同参画

①男女共同参画プラン推進管理事業

《企画調整課》　　拡 充　**５３万円**

平成２４年３月に策定した第２次網走市男女共同参画プランについて、中間年における見直しを行います。（計画期間Ｈ２５～Ｈ３４）

産　　業

①「おいしいまち網走」ＰＲ事業

《企画調整課》　拡 充　**３億７，２２８万円**

市外在住者からのふるさと寄附に対し、特産品などの特典を贈呈することにより、網走の魅力や商品のＰＲを行います。

行政・広域連携

①総合計画策定事業《企画調整課》

拡 充　**９５８万円**

平成３０年以降のまちづくりの方向性を定める第６期網走市総合計画を策定します。

②地域おこし協力隊活用事業

《企画調整課》　　拡 充　**１，６７２万円**

網走市で働くことを希望している若者を三大都市圏から隊員として募集し、定住・定着を図ります。

現在２名が配置されているオホーツク流氷館に加え、平成２９年度においては、２名の新規隊員を募集し、創設予定の「まちづくり会社」及び「博物館網走監獄」への配置を進めます。

③オホーツクイメージ戦略推進委員会

負担金《企画調整課》　新 規　５６万円

オホーツク管内１８市町村とオホーツク総合振興局が連携してプロモーションを行い、オホーツクのイメージアップ・ブランド化を推進します。

高等学校・高等教育

①日体大高等支援学校屋内直線走路整備事業補助金《企画調整課》

新規(補正)　２億６，５００万円

日体大が整備する国内最長となる１５０ｍの屋内直線走路に係る費用を助成し、障がい者スポーツの推進と新たな拠点づくりを目指します。

②日体大高等支援学校開校記念事業

《企画調整課》　新 規　１，０００万円

市制施行７０年と開校を記念して、日体大の集団行動を誘致し、実演会を開催することにより、障がい者スポーツ教育等について、さらなる周知と理解を図ります。

③日体大高等支援学校入学支援補助金

《企画調整課》　新 規　６００万円

保護者の入学時の経済的負担を軽減するため、入学費用の一部を支援します。

④日体大高等支援学校運営費補助金

《企画調整課》　新 規　４，２００万円

学校運営に対して、国及び道の補助制度が適用されるまでの間、運営費を支援します。

⑤日体大高等支援学校施設整備事業

補助金《企画調整課》　１，０００万円

同校の施設整備及び教育活動に要する経費を助成することにより、特別支援教育の向上と地域密着型の魅力ある学校づくりを支援します。

新 産 業 創 出

①６次産業化プロデューサー育成事業

《企画調整課》　４００万円

東京農大と連携し、マネジメントマーケティング能力を有した地域活性化の中核となる人材を育成します。

地 域 間 交 流

①友好都市訪問団派遣事業《企画調整課》

拡 充　１４０万円

厚木市へ小学生訪問団を派遣し、首都圏の文化や環境にふれ、友好を深めるとともに、集団行動による協調性、自主性の育成を図ります。

②生涯活躍のまち構築推進事業

《企画調整課》　２００万円

東京農大と連携し、首都圏から健康で多様な知識・経験をもつ人材の還流を図る「網走版ＣＣＲＣ構想」の策定に向けた取組を進めます。

市民部のことしのまちづくり

環 境 保 全

①環境保全《生活環境課》

・濤沸湖水鳥・湿地センター管理運営事業　７２４万円

ラムサール条約登録湿地となっている濤沸湖における環境学習・保全調査の拠点施設の管理運営を担い、利用促進を図ります。

②地球温暖化対策《生活環境課》

庁内では市役所地球温暖化対策実行計画等の取り組みを進めるほか、市民や事業者が実践することができる取り組みの普及啓発を図ります。

・地球温暖化対策推進事業　１５万円

・新エネ・省エネ推進事業　１３万円

・「環境展」開催事業　１８万円

③空き家等対策《生活環境課》

・空き家等対策推進事業　３０万円

市民の安全、安心なまちづくりを推進するため、空き家等対策の推進を図ります。

環 境 衛 生

①廃棄物処理施設整備の推進《生活環境課》

次期ごみ処理施設のうち最終処分場の整備を行います。

・一般廃棄物処理施設整備事業

拡 充　１０億２，６４９万円

②資源リサイクルの推進《生活環境課》

・リサイクル事業

拡 充　１億１，８６６万円

家庭から出された資源物の分別収集と再資源化処理を行います。また、平成２９年度より生ごみと容器包装プラスチックのリサイクルを開始します。

③ごみ収集・処理《生活環境課》

・ごみ処分場運営事務費

拡 充　４２８万円

新たな分別開始に伴い、処理困難物の委託処理及び持込ごみの分別指導を実施します。

④ごみ減量化の推進《生活環境課》

・資源物集団回収支援事業　２４０万円

地域でのリサイクルを進めるため、町内会などで実施する資源物の集団回収に対して、１kg当たり４円の助成を行います。

⑤墓地・墓園整備《生活環境課》

・墓地改修事業　拡 充　１，０００万円

桂町墓地の参道、潮見墓園及び卯原内墓地の排水路を改修します。

公 害 防 止

①公害等の防止《生活環境課》

・悪臭防止対策事業　１３３万円

悪臭を防止するため、募集したパネラーによる悪臭の測定や機器分析により、悪臭の発生源の特定と改善を進めます。

・水質汚濁防止対策事業　６３万円

河川の水質を監視するため水質検査を実施し、水質汚濁の未然防止を図ります。

・騒音振動防止対策事業　２５１万円

法に基づく騒音・振動防止対策の一環として、自動車交通騒音に係る常時監視及び面的評価を実施し、測定・調査の充実を図ります。

市 民 福 祉

①重度心身障がい者医療助成事業

《保険年金課》　６，１５２万円

重度心身障がい者の健康保持及び福祉の増進を図るため、医療費の自己負担分の全額又は一部を助成します。

②国民健康保険都道府県単位化への対応

《国民健康保険特別会計》

拡 充　２，７６１万円

平成３０年度から都道府県が財政運営の主体となるため、システムを改修します。

保　健　医　療

①検診助成事業《保険年金課》

国保被保険者を対象に各種検診助成を行います。

・人間ドック助成　６１０万円

２年に１度、４０歳から６５歳未満の方に助成します。

・脳ドック助成　８１７万円

２年に１度、４０歳から７５歳未満の方に助成します。

・ミニドック検診（がん検診 年３回）　２６３万円

②脳ドック助成事業《保険年金課》

２０４万円

後期高齢者の方を対象に脳ドックの助成を行います。

③精神保健事業《健康管理課》

精神的な問題を抱える当事者や家族が、社会で孤立することなく、地域生活の維持・向上ができるよう支援します。

・「北海道いのちの電話」相談促進事業　３３万円

・精神保健事業　６４万円

④健康診査の実施《健康管理課》

各種検診を行います。

・ミニドック検診（年３回）

・がん検診　２，６２３万円
（胃・肺・大腸・前立腺・子宮・乳がん）

・肝炎ウイルス検査　９万円

・乳がん検診（個別受診）　１０３万円

・レディス健康診査　３６万円

・エキノコックス症検査　５６万円

⑤がん検診推進事業《健康管理課》

１６１万円

がんの早期発見、がんによる死亡者の減少につなげるため、子宮頸がん・乳がん検診の受診対象者にクーポン券を配布し、検診を無料で実施します。

⑥母子保健事業《健康管理課》

・乳幼児健診等　３７２万円

母子手帳の交付、乳幼児健診、４ヶ月未満児訪問、フッ素塗布など、母と子の健康の保持・増進を図ります。

・妊婦健康診査　２，０８４万円

妊婦の健康の保持・増進、経済的支援を行うため、１４回の健診と６回の超音波検査の公費負担を行います。

・育児教室、母親・両親学級　１９万円

妊娠、出産、育児の不安を解消するため、正しい知識の普及と親同士の交流や仲間づくりを進めるとともに、父親の子育て参加を促します。

⑦感染症の予防《健康管理課》

・高齢者インフルエンザ予防接種

１，７６６万円

インフルエンザ予防に関する知識を啓発するとともに、高齢者の予防接種料金の一部を助成します。

・こどもインフルエンザ予防接種

２，０５０万円

集団発生、感染拡大の可能性が高い幼児から中学３年生までを対象に、予防接種料金を全額助成します。

・小児用肺炎球菌予防接種　１，２４９万円

細菌性髄膜炎の感染を防ぐため、小児用肺炎球菌ワクチンによる乳幼児の予防接種を行います。

・ヒブ予防接種　９７５万円

細菌性髄膜炎の感染を防ぐため、ヒブワクチンによる乳幼児の予防接種を行います。

・麻しん・風しん予防接種　　５８１万円

麻しん・風しんの予防接種を実施し、流行の発生を防止します。また、妊娠を予定・希望する世代の風しん感染による出生児の先天性風疹症候群の発症を予防するため、予防接種料等の一部を助成します。

・水痘予防接種　　４５２万円

水痘感染を防ぐため、予防接種を行います。

・成人用肺炎球菌予防接種　　７６３万円

肺炎球菌感染症予防のため、65 歳以上（５歳刻み）及び身体障害（内部障害）１・２級程度の 60 歳～64 歳の予防接種料金の一部を助成します。

・日本脳炎予防接種　　１，５９４万円

日本脳炎予防のため予防接種を行います。

・Ｂ型肝炎予防接種　　５３４万円

Ｂ型肝炎の感染を防ぐため、予防接種を行います。

⑧胃がんリスク検診《健康管理課》

６１万円

中学生を対象に、胃がん発症の原因とされるピロリ菌保有検査を実施します。

⑨不妊治療費の助成《健康管理課》

１２０万円

特定不妊治療や保険が適用されない不妊の治療を受けている方の治療費の一部を助成します。

⑩特定疾患等患者通院交通費の助成

《健康管理課》　　１５０万円

小児慢性特定疾患を含む特定疾患等患者の通院に要する交通費の一部を助成します。

⑪２４時間電話健康相談サービス

《健康管理課》　　５９６万円

いつでも健康や医療、育児などの不安解消ができるよう、２４時間電話健康相談サービスを実施します。

⑫コンビニへ等のＡＥＤ設置

《健康管理課・市民課》　　８９万円

迅速な救急救命活動が行える環境の充実を図るため、コンビニ、コミセン、集会施設にＡＥＤを設置し講習会を行います。

⑬救急医療の体制づくり《健康管理課》

・救急医療体制づくり

拡 充　２，８３６万円

休日・夜間の救急医療体制確保のために、網走医師会に委託し、体制の構築を図ります。

・網走市休日内科急病センターの整備

１，３７６万円

市内医療機関の負担軽減のため医師を確保し、網走市休日内科急病センターを開設することで､休日の内科救急医療体制を整えます。

⑭公的病院等支援事業《健康管理課》

・網走厚生病院小児・周産期医療等運営補助　　４，８００万円

小児・周産期医療等の安定的な診療体制確保のために、特別交付税措置の対象となる医療機関に助成を行います。

・網走脳神経外科・リハビリテーション病院運営補助　　９５０万円

リハビリテーションの安定的な診療体制確保のために、特別交付税措置の対象となる医療機関に助成を行います。

⑮看護師･薬剤師確保対策支援事業

《健康管理課》　　１，８００万円

各病院が実施している奨学金制度の増額を図り、看護師及び薬剤師の確保について支援します。

⑯健康都市づくり推進事業《健康管理課》

１７０万円

高齢化が進展する中にあっても、市民が健康で安心した生活が送れるよう、ベジラブル運動の推進や健康づくり指導者講習会を開設し、健康づくりを推進します。

⑰あばしり健康マイレージ事業
《保険年金課》　９５万円

特定健診の受診率の向上を図るため、４０歳以上の市民を対象に、健康関連事業の参加に際してポイントを付与し、規定のポイントに対して景品を贈呈します。

⑱受動喫煙防止対策検討事業
《健康管理課》　新 規　６０万円

受動喫煙防止対策検討委員会を設置し、市民及び各事業所へ意識調査を行うとともに、防止対策を検討します。

⑲健康都市連合日本支部総会・大会開催事業《健康管理課》　新 規　３８０万円

先進的な健康都市や、市民団体の取り組みを市民とともに学ぶ機会を設けるため、また、併せて市制施行７０年を記念し、第１３回健康都市連合日本支部総会・大会を開催します。

⑳あばしり健康カニチョッ筋体操普及促進事業
《健康管理課》　新 規　７２万円

健康意識の向上と体操の定着を目指すため、新たにスローバージョンを作成するなど、誰もが取り組める体操とし、更なる普及、促進を図ります。

コミュニティの形成

① 町内会連合会補助金《市民課》
拡 充　１８０万円

町内会連合会の運営、組織強化事業を支援します。

② コミュニティセンターの管理運営
《市民課》　拡 充　３，４３９万円

地域住民の活動拠点としてコミュニティ施設を指定管理者により管理運営します。

向陽ヶ丘住民センターは、平成２９年度から管理人を常駐化します。

③ 集会施設管理運営事業《市民課》
４３１万円

郊外集会施設の管理運営や修繕などを行います。

④ 網走市食品加工体験センターの管理運営《市民課》　１，１４１万円

地場産品等の食品加工体験を通じて、安心・安全な食品知識の習得と理解を図ります。

市 民 活 動

① 市民活動活性化事業《市民課》
７０万円

市民団体・町内会等の組織運営の活性化を図るセミナーを開催します。

② 花いっぱいのまちづくり推進事業
《市民課》　３６６万円

町内会等へ花苗を提供し、花いっぱいのまちづくりの推進を図ります。

③ 青少年平和都市友好交流事業《市民課》
７７万円

中学生を糸満市へ派遣し、平和の尊さや戦争の悲惨さを現地での交流と体験を通して学習し、市民に広く伝えます。

消 費 生 活

① 消費生活相談窓口の開設《市民課》
２７１万円

消費生活上の疑問や不安を解消したり、契約トラブルの解決に向け、情報を提供・助言する消費生活相談室を開設します。

交 通 安 全

① 交通安全教室備品整備事業《市民課》
新 規　１７１万円

交通安全教室用備品の更新にあたり、新たに高齢者交通安全機器なども導入し、交通安全教室を通じた交通安全の推進を図ります。

福祉部のことしのまちづくり

市　民　福　祉

地域福祉　≪社会福祉課≫

① 地域人権啓発活動活性化事業

新 規　８５万円

幼児を対象に、花を育てる体験や紙芝居の読み聞かせを通して豊かな心を育みます。

また、小中学生を対象に、人権に関する標語集を作成・配布し、人権意識の高揚を図ります。

障がい者福祉　≪社会福祉課≫

① 居宅介護給付　６，８００万円

入浴や排せつ、食事の介護など、自宅での生活全般にわたる介護サービスを行います。

② 就労継続支援給付　１億３，９２７万円

一般企業で雇用されることが困難な人に、働く場の提供や、就労に必要な知識や能力の向上のための訓練を行います。

③ 障がい福祉計画策定　拡 充　６５万円

障がい者が地域でいきいきと暮らせるまちづくりを推進するため、障がい者施策の基本指針となる計画を策定します。

高齢者福祉　≪介護保険特別会計≫

① 介護保険給付費　２９億４，８０１万円

介護保険は、介護を地域や社会全体で支え合うための制度です。

４０歳以上の方が加入者として保険料を出し合い、介護を必要とする方が介護認定によりサービスを利用し、サービス提供事業所や介護保険施設に対して利用料を負担します。

② 介護保険料の負担軽減強化　６３７万円

国の制度に基づき、６５歳以上の低所得者の介護保険料を軽減します。

③ 利用者負担軽減対策　１，７３４万円

低所得者の介護サービス利用者負担を軽減します。

④ 介護予防・日常生活支援総合事業

拡 充　１億１，３３４万円

介護保険法の改正に伴い、介護予防給付における「訪問介護」と「通所介護」が地域支援事業に移行され、介護予防事業との再編により「介護予防・日常生活支援総合事業」になります。

総合事業は、要支援者等を対象とした「介護予防・生活支援サービス事業」と全ての高齢者を対象とした「一般介護予防事業」の構成で実施します。

【介護予防・生活支援サービス】

⑴ 買物支援サービス事業　新 規　７２万円

要支援者等を対象とした買物代行サービスを提供します。

⑵ 短期集中予防サービス事業（訪問型）

新 規　１０２万円

閉じこもり等の心身の状況にあり、通所事業への参加が困難な要支援者等を対象に、リハビリテーション専門職が居宅を訪問し、社会参加のために必要な相談・指導等のサービスを提供します。

【一般介護予防事業】

⑶ 高齢者ふれあいの家支援　５３４万円

地域ボランティアの育成と支援により、高齢者の生きがいづくりと閉じこもり防止を目的としたふれあいの家を開設します。

⑷ 地域リハビリテーション活動支援事業

新 規　６３万円

高齢者ふれあいの家や老人クラブなどにリハビリテーション専門職を派遣し、介護予防の取組を総合的に支援します。

⑤ 包括的支援事業　　５，８０１万円

高齢者が要介護状態になることを予防するとともに、要介護状態になった場合でも、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう総合的に支援します。

更に、介護保険制度の改正に伴い、新たな取組として、認知症施策、生活支援体制整備を推進します。

⑴ 地域包括支援センター運営事業

４，５７０万円

高齢者の生活を支えるための拠点として、配置された保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員といった専門職が介護予防や各種相談などの総合的な支援を行います。

⑵ 在宅医療・介護連携推進事業　　１８万円

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者に、在宅医療と介護を一体的に提供するため、関係機関と連携し、支援体制の構築を進めます。

⑶ 認知症初期集中支援推進事業

新 規　１８１万円

専門職で構成された認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の早期における症状の悪化防止や総合的な支援を行うなど、適切な医療・介護等が受けられる初期体制を構築します。

⑷ 認知症地域支援・ケア向上事業

新 規　４１２万円

医療機関や介護サービス及び地域の支援機関をつなぐ役割を担う認知症地域支援推進員等を配置し、支援体制の連携強化を図ります。

⑸ 生活支援体制整備事業　新 規　６２０万円

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進するため、生活支援コーディネーターの配置と生活支援を担う多様な主体が参画する協議体を設置し、高齢者の支援体制の充実や社会参加の促進を一体的に図ります。

高齢者福祉　≪一般会計≫

① 高齢者等除雪・融雪サービス５２６万円

（うち介護保険特別会計　９３万円）

冬期間の除雪が困難な高齢者等世帯の避難通路を確保するため、除雪・融雪サービスを行います。

② 成年後見相談支援事業　　７１９万円

《介護保険特別会計から移行》

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、成年後見制度の相談や利用支援を行います。

③ 寝たきり高齢者等移送サービス

９０万円

在宅で生活する要介護４又は５の方の外出時におけるタクシー料金の一部助成を行います。

④ ひとり暮らし等高齢者緊急通報システム事業　　６２６万円

ひとり暮らしの高齢者等世帯の緊急時に対応するため、ボタンを押すだけで消防署へ通報できる機器を貸与します。

⑤ 高齢者生活総合支援事業

１，９１３万円

７０歳以上の前年度市民税非課税者のうち、要件を満たす方を対象に、バス・ハイヤー乗車、施設利用、買い物代行などの生活支援、除雪、入浴に使用できる助成券を交付します。
（１人につき６千円）

⑥ 介護人材確保事業　　６６万円

介護事業者や関係機関との連携により介護人材の確保や離職防止に努めます。

高齢者福祉施設整備

① 養護老人ホーム建設費償還金補助

３，２６４万円

② 介護予防・生活支援拠点整備事業

新 規　１６２万円

大曲地区をモデルとして、新たな生活支援体制の拠点とするために、西コミュニティセンターに交流の場を設け、近隣での助け合いを育む地域づくりを目指します。

児童・母子福祉　≪子育て支援課≫

① 児童手当の支給　　５億２０２万円

次世代の社会を担う子どもの育ちを支援するため、中学校修了前までの子どもについて、一人あたり月額１万円を支給します。３歳未満の子どもと第３子以降の子どもについては、月額１万５千円を支給します。前年の所得が限度額以上の場合は、５千円を支給します。

② 児童扶養手当の支給

１億８，８７６万円

経済的に厳しい状況におかれているひとり親家庭等に児童扶養手当（42,290 円上限）を支給します。第２子は 9,990 円、第３子以降は 5,990 円を上限に加算します。

③ 子育てサポート事業　　２７５万円

子育ての支援をしてほしい方（依頼会員）と支援をしたい方（協力会員）が有償で相互支援活動を行い支援します。

④ 乳幼児世帯生活応援事業

新 規　５８３万円

お子さまの誕生を祝して、紙おむつ用ごみ袋を無償で支給することにより、子育て世帯を応援します。
（０歳児：２４０枚、１歳児：１２０枚）

⑤ 子どもの居場所づくり支援事業

新 規　５０万円

子どもたちが地域の人とのふれあいによって安心して過ごすことができる居場所づくりを進めます。

⑥ こども医療助成事業　　９，６９９万円

こどもの早期受診・治療を促進するため、中学生までの子どもの医療費の全額または一部を助成します。

	年齢区分	自己負担
通院 歯科 調剤	3歳まで	無料
	小学校 入学前	非課税:無料
		課税:1割負担
	小中学生	1割負担
入院	中学生まで	無料

※高校生等から数えて第３子目以降は無料

⑦ ひとり親家庭等医療助成事業

３，４８１万円

ひとり親世帯の親と児童の健康保持及び福祉の増進を図るため、医療費の自己負担分の全額又は一部を助成します。

⑧ 未熟児養育医療給付事業　　２４１万円

都道府県の指定した養育医療指定機関において入院を必要とする重症未熟児に対して、養育に必要な医療の給付を行います。

⑨ 地域子育て支援センター運営事業

１，４２０万円

育児不安に対する相談や遊びの広場、子育てサークルへの支援などを行い、地域の子育てを応援します。

⑩ 児童館管理運営事業　　５，５７９万円

児童に健全な遊びを提供し、健康の増進などを図るとともに、共働き家庭の児童を対象に児童クラブを設置し、児童の健全育成を図ります。

⑪ 認可保育所の運営　２億４，４５８万円

保護者の労働・疾病などの理由で家庭において乳幼児を保育することができない保護者にかわって保育を行い、心身の健全な発達を支援します。（公立３園、私立１園）

⑫ 西部地区統合へき地保育所整備事業

新 規　２，２００万円

さんごそう保育園、嘉多山保育園を統合し、新たな保育所を整備します。平成２９年度は、土地の取得や調査設計を行います。

⑬ 東部地区へき地保育所の通年化

拡 充　４８７万円

はまなす保育園と浦士別保育園を平成２９年度より通年化し、子育て環境の充実を図ります。

⑭「子ども・子育て支援新制度」の実施

５億３，６３７万円

平成２７年度よりスタートした「子ども・子育て支援新制度」により、保育所や幼稚園、認定こども園などの利用に対する給付を行います。

⑮ 幼稚園型一時預かり事業

１，０６６万円

市内各私立幼稚園等で一時預かりを実施することにより、子育て環境の充実を図ります。

経済部のことしのまちづくり

自然環境保全

①森とみどりづくり推進事業《農政課》

１０６万円

緑化・景観向上のための広葉樹の苗木を町内会などの地域団体に無料配布します。

②植樹祭実施事業《農政課》　１１２万円

森林や緑に対する市民理解を深めるために、市有林において植樹祭を実施します。

中心市街地

中心市街地活性化の推進《商工労働課》

活気と魅力のある商業地域の活性化を図るため、にぎわいの創出やまちなかに市民が集える環境づくりを支援します。

①中心市街地活性化対策支援事業

１６４万円

まちなかのコミュニティの場の設置、及び商店街リーダー育成事業に助成します。

②まちなか情報発信事業補助金　３０万円

中心市街地に関する魅力ある情報を発信する「かわら版あばなび」の発行に対して助成します。

③あばしり七福神まつり補助金　２０５万円

④オホーツク屋台村補助金　１８万円

⑤ホワイトイルミネーション設置事業補助金

５０万円

⑥アプト４歩道照明維持補助金　１７２万円

⑦地域経済・中心市街地活性化総合推進事業　２７０万円

中心市街地の活性化に向け、創設予定の地域商社機能をもつ「まちづくり会社」と連携し、中心市街地の賑わい創出に取り組みます

⑧空き店舗・空き地活用事業補助金

拡 充　２６０万円

中心市街地の空き店舗を活用して出店する者に対し、店舗改修及び一定期間の家賃の一部を支援します。

また、空き地への出店経費も新たに支援対象とします。

勤労者福祉

①建築技能者等地域定着促進事業

《商工労働課》　４４５万円

地域における、建築関連技能技術者の人材の確保・養成事業に対して助成します。

②建築技能者人材確保補助金《商工労働課》

６０万円

網走地域建築技能者等地域定着促進運営協議会の修学資金利用者を採用し、通年雇用する事業者に対して助成します。

③ものづくり技能体験事業補助金

《商工労働課》　１０万円

子どもを対象とした、技能に慣れ親しみ、建築技能等の魅力に触れる体験イベントの実施に対して支援します。

④女性・高齢者就労支援事業

《商工労働課》　拡 充　５０万円

結婚や出産を機に離職した女性の再就職などを応援するためのセミナーを開催するとともに、女性、高齢者を対象とした就職企業説明会を開催します。

⑤地域連携インターンシップ活用労働力確保事業《商工労働課》　１２１万円

大空町及び東京農業大学と連携し、学生インターンシップを活用した地域産業の労働力確保の取り組みを進めます。

⑥Ｕ・Ｉターン就職推進事業《商工労働課》

新 規　５５万円

労働力を確保するために、首都圏などで開催する就職セミナーに出展する事業者に対し経費の一部を助成します。

公　共　交　通

①地域公共交通調査・検討事業負担金

《商工労働課》　１００万円

公共交通機関の空白地域や不便地域における効率的で利便性のある、持続可能な公共交通のあり方についての検討を進めます。

②生活交通路線維持対策事業《商工労働課》

２，７１６万円

交通弱者の移動手段を維持・確保するため、地方路線バスの運行経費に対して助成します。

③地域コミュニティ交通対策事業

《商工労働課》　４５２万円

公共交通空白地域の解消を図るため、西山通線及び二ツ岩線の運行経費に対して助成します。

④鉄道記念館展示客車改修事業

《商工労働課》　拡 充　３２８万円

鉄道記念館に併設している鉄道客車の屋根などを改修します。なお、改修費の一部をクラウドファンディングの活用により、財源を確保するとともに鉄道記念館を広くＰＲします。

農　林　業

農業基盤の整備等《農政課》

①農業用ダムの管理など

・卯原内ダム等管理事業　２，７１５万円

・斜網地区ダム等管理事業　１，３５３万円

国営事業で設置した農業用ダム等を管理します。

・斜網地区ダム小水力発電事業

拡 充　３３０万円

農業用ダムを活用した小水力発電施設を、１市４町で整備します。

②西部川向地区担い手支援畑総事業　外

拡 充　２億６，７４４万円

道営事業として行う農地改良の費用を、一部負担します。

畑作の振興《農政課》

①ジャガイモシロシストセンチュウ緊急防除事業　拡 充　５億７７３万円

国の緊急防除の指定を受けたジャガイモシロシストセンチュウを駆除するため、発生圃場の生産者に防除協力金を交付するほか、土壌消毒などの防除作業やまん延防止対策を行います。

②重要病害虫防疫対策事業　１７５万円

畑作物の生育に重大な影響を及ぼす重要病害虫のまん延防止対策を行います。

③鳥獣害防止対策事業　拡 充　４６７万円

エゾシカなど農作物に被害をもたらす有害鳥獣の被害防止対策を行います。

④狩猟免許取得支援事業　３０万円

有害鳥獣被害防止対策を担う人材を育成するため、狩猟免許新規取得者に取得費用を助成します。

⑤特産品・産地ブランド形成事業　８０万円

特産品として期待できる農作物の栽培試験や消費の拡大に向けた調査活動を支援します。

⑥安全・安心な農作物生産事業補助金

１８５万円

農業経営の安定化と農作物の安全･安心を確保するため、農協等が実施する土壌分析と残留農薬分析に対し費用の一部を助成します。

農産物の販路拡大《農政課》

①地域連携長いも高付加価値化推進事業

５００万円

大空町及び東京農業大学、ＪＡと連携し、長いもの高付加価値化を図る調査研究を行います。

②オホーツク産小麦消費拡大事業

５０万円

地元産小麦の消費拡大を図るため、地元小麦に関する食のイベントを開催します。

畜産の振興《農政課》

①あばしり和牛産地基盤づくり推進事業

補助金　１００万円

繁殖雌牛の計画的な更新を推進し、「オホーツクあばしり和牛」のブランド化を支援します。

②畜産・酪農収益力強化施設整備事業

補助金　新 規　１，５３５万円

畜産・酪農の収益力強化を図る施設整備を支援します。

③家畜伝染病防疫資材整備事業

４３万円

家畜伝染病の防疫活動に必要な資材を整備し、防疫体制の強化を図ります。

農村の振興《農政課》

①農業農村多面的機能発揮促進事業

１億５，３７０万円

農業・農村の多面的機能（農地維持、資質向上）発揮のための地域活動等に対して支援します。

②農地集積支援事業　３００万円

農地集積に協力する耕作者などに、協力金を交付します。

③農村飲料水ボーリング費用補助金

１２０万円

飲料水及び営農用水が不足している農業者が行うボーリング経費の一部を助成します。

農業の担い手育成《農政課》

①農業担い手実践研修支援事業

３５０万円

農業後継者及び新規就農者を対象に、優れた農業経営や地域リーダー育成を図ることを目的に開催する研修に対し経費の一部を助成します。

②青年就農支援資金貸付事業　７５万円

遊休農地の発生防止と農業の円滑な継承のため、新規就農者を支援します。

食育の推進《農政課》

①食育推進事業　１８万円

市の食育推進計画に基づき、食育啓発に関する事業を推進します。

②網走産「春よ恋」地産地消推進事業

２９万円

小中学生に、地産地消に対する理解を深めてもらうため、網走産小麦粉１００％を使用した学校給食パンを提供します。

林業の振興《農政課》

森林がもつ林業と環境保全という機能を維持・再生するため長期的な視点で森林整備を進めます。

①森林整備補助金　１，６１６万円

（未来につなぐ森づくり推進事業・除間伐奨励事業・人工造林推進事業　外）

②市有林整備事業　８４９万円

③木育推進事業　６万円

地球温暖化防止など森林の多面的機能の啓発を図るため、小学生を対象に森林学習を行います。

④保安林管理事業　拡 充　３４７万円

⑤こまば木のひろば管理事業　４３８万円

商　工　業

中小企業対策《商工労働課》

①中小企業人材育成補助金　５３万円

市内の中小企業者等従業員や経営者の人材育成支援を図るため、中小企業大学校で開催される講座、研修会の受講料を助成します。

②起業家支援セミナー事業負担金

３５万円

起業を目指す方や創業後間もない起業家を対象としたセミナーを開催します。

③起業化支援事業補助金　１５０万円

市内において新たに事業を起こそうとする個人・小規模企業者に対し、店舗の取得または改修に要する経費の一部を助成します。

④天空の里出店支援事業補助金

新 規　５０万円

天都山周辺の賑わいの創出と活性化を図るため、エリア内に出店する者に対し、店舗の取得または改修に要する経費の一部を助成します。

⑤融資制度の充実

中小企業者等に対する円滑な金融支援を行います。

- 一般資金貸付　７億５，４４８万円
- 店舗改善資金貸付　１７０万円
- 工場等進出資金貸付　２７０万円
- 経営安定資金貸付　３，４２０万円
- 起業化等資金貸付　３，３１０万円
- 商工組合中央金庫貸付　１，３００万円
- 東日本大震災関連特別資金貸付　４４０万円
- 中小企業融資保証料補給補助　１，２６６万円
- 東日本大震災関連融資保証料補給補助　８万円

市場開拓・販路拡大事業《商工労働課》

①地場産品市場開拓推進事業　１７７万円

交流都市で物産ＰＲを行うほか、大都市圏で開催する商談会への出展補助などを行い、地場産品の販路拡大を図ります。

②新製品等プロモーション支援事業

１９０万円

中小企業者等が開発した新製品等の販路拡大及び販売促進を目的に、マスメディアを活用した広報支援事業を実施します。

新産業創出事業《商工労働課》

①ものづくり総合支援事業　３６６万円

- **北海道ＨＡＣＣＰ導入支援事業**
  北海道ＨＡＣＣＰの導入のために行う施設や設備の改良などの取り組みを支援します。
- **新製品創出支援事業補助金**
  中小企業者等が行う、新製品の創出や地場産品を活用した新たな商品開発に関する取り組みなどを支援します。
- **事業化等スタートアップ支援事業**
  中小企業者等が新たに取り組む事業の初期段階を支援します。
- **ものづくりサポート事業**
  中小企業者等が開発した新製品の改良等に必要な各種支援を行います。
- **地場特産品付加価値向上事業**
  中小企業者等が地場特産品の付加価値を高めようと行う加工・研究・調査に係る経費の一部を支援します。

企業誘致《商工労働課》

①企業誘致プロモーション事業　８０万円

企業向けのプロモーション活動を通じて、情報収集及び企業誘致の促進を図ります。

②再生可能エネルギー活用調査事業

新 規　２１８万円

再生可能エネルギーの特性を活かした利活用と企業立地の可能性について調査・研究を行います。

イベント等支援事業《商工労働課》

①あばしりオホーツク夏まつり補助金

２１２万円

②花火大会魅力アップ事業補助金

２００万円

観光部のことしのまちづくり

観光資源整備

①大曲湖畔園地整備事業《観光課》

１，５６１万円

日本最大級のひまわり畑やコスモス畑などの景観整備及び、アスパラ畑など収穫体験の受入環境整備を行います。

②天都山周辺の花園整備《観光課》

５５８万円

ボランティア活動により天都山周辺花園を整備し、観光客の誘客促進を図ります。

③サンゴ草群生地再生保全事業《観光課》

３７５万円

サンゴ草群生地の土壌乾燥化防止及び地下水位観測調査等、群生地の保全を行います。

④天空の里魅力発信・活性化事業《観光課》

新 規　１５０万円

天都山周辺の賑わい創出と活性化を図るため、エリア内の事業者と連携し、周遊体験モニターツアーなどを行い、周遊を促進する仕組みをつくります。

キャンペーンＰＲ

①国内宣伝ＰＲ事業《観光課》　４８１万円

ラジオ、インターネット、旅行雑誌を活用し、国内における観光宣伝ＰＲ事業を実施します。

②海外宣伝ＰＲ事業《観光課》　１２１万円

台湾・香港・タイ・シンガポール人観光客の一層の誘客を図るため、現地観光雑誌を活用して網走の魅力をＰＲします。

③道内主要都市観光キャンペーン事業

《観光課》　７２万円

道内からの観光客が低迷しているなか、道内需要の掘り起こしのため、旅行会社等との共催で道内主要都市における観光キャンペーンを行います。

外国人観光客誘致促進

①外国人観光客誘致対策プロモーション事業《観光課》　７２１万円

海外からの観光客の増加を図るため、東アジア・東南アジアにおける観光プロモーション活動を実施します。

②外国人観光客インフォメーション事業

《観光課》　５２６万円

外国人観光客に向け、外国語ブログやツイッター等を活用して観光情報を発信します。

③ひがし北海道空港連携海外観光客誘致事業《観光課》　３００万円

女満別・釧路・帯広空港エリアが連携し、ひがし北海道全体の魅力をＰＲし、誘客促進に努めるとともに、各空港が柔軟な国際航空路線受入体制を整備し、チャーター便就航の実現を目指します。

④広域観光メディア活用ＰＲ事業負担金

《観光課》　新 規　４０万円

女満別空港国際チャーター便誘致協議会として、海外のテレビＣＭで広域観光のＰＲ映像を放送するなど、外国人観光客の誘客を行います。

観光客受入体制整備

①女満別空港観光客利用促進事業《観光課》

拡 充　２００万円

当市の特色ある観光資源や食を航空会社の機内誌、機内ビデオ、機内食などを通じてＰＲを図ります。

②冬季観光魅力向上事業《観光課》

新 規　１７０万円

冬の魅力を満喫できる体験型イベントの実証実験やスポットメニューの実施により、冬季観光の魅力向上を図ります。

③観光推進プラットフォーム形成事業

《観光課》　新 規　１５０万円

観光客の持続的な誘客と地域経済の活性化を促進するため、観光事業者をはじめ異業種の方などと連携を深め、地域資源を活用した滞在プログラムづくりなどに取り組む観光推進体制を構築します。

④閑散期対策商品造成事業《観光課》

拡 充　８５０万円

閑散期の誘客促進を図るため、市内に宿泊するツアー商品、市内観光施設への入館特典付き宿泊商品及びインバウンドを対象とした宿泊商品の造成又は販売に対して助成します。

⑤施設巡り観光バス運行事業《観光課》

４００万円

観光客の利便性向上のため、閑散期に観光施設を巡るバス路線の運行委託を行い、通年運行の体制を整えます。

⑥観光交通ネットワーク推進事業《観光課》

８０万円

ＬＣＣの就航や次世代地域航空、新しい空港経営のあり方など、先駆的な観光交通ネットワークについて、航空会社などの交通事業者、国・道などと連携し、さらなる充実を図ります。

観光関連情報の発信

①観光ホームページ作成事業補助金

《観光課》　新 規　４７５万円

市の観光ホームページを観光協会のホームページに統合し、観光情報の一元化を図るとともに、多言語（英語、中国語（繁体字、簡体字）韓国語）に対応します。

スポーツ・ツーリズム

①オホーツク網走マラソン開催負担金

《観光課》　８９０万円

オホーツク網走マラソン２０１７を開催します。

②オホーツク地域サイクリングブランド化

推進事業《観光課》　新 規　６００万円

北見市、大空町と連携し、サイクリストの受入環境整備を進め、食、景観、体験等を通じた、オホーツク地域のブランド化を図ります。

イベント支援

①あばしりオホーツク流氷まつり補助金

《観光課》　７９０万円

あばしりオホーツク流氷まつりの開催のため、実行委員会へ補助金を交付します 。

②オホーツクあばしりツーデーマーチ

負担金《観光課》　拡 充　１４０万円

「でっかいどうオホーツクマーチ」の第３０回記念大会を開催します。

水産港湾部のことしのまちづくり

港　　湾

①国が行う港湾事業の負担金《港湾課》

１億２，０００万円

国が行う南防波堤施設や川筋地区の物揚場施設の整備費の一部を負担します。

②港湾緑地の整備《港湾課》

４００万円

網走川周辺地区の賑わい創出と交流促進のため、モヨロ貝塚館と一体となった緑地を整備します。

③第４ふ頭岸壁の改良《港湾課》

４，５００万円

第４ふ頭岸壁のエプロンの舗装改良工事を行います。

④新港船揚場の改良《港湾課》

拡 充　２，１６０万円

安全に上架作業を行えるよう新港船揚場の改良工事を行います。

⑤客船の誘致及び受入対応《港湾課》

拡 充　３４８万円

客船誘致のためのポートセールスを行います。
また、寄港する客船（飛鳥Ⅱ、ぱしふぃっくびいなす、ダイヤモンドプリンセス）の乗船客に対し観光ＰＲを行い、市内観光施設や飲食店などへの誘客を図ります。

⑥港湾利用促進調査《港湾課》

新 規　３０８万円

北網圏をはじめとする東北海道地区の物流形態、貨物の動向を調査し、網走港活用の可能性について検討します。

⑦みなと観光交流センターの管理運営《港湾課》

３１２万円

経年劣化に伴う修繕等を行い、市民や観光客に親しまれる管理運営に努めます。

⑧広域連携による海外クルーズ客船誘致《港湾課》

新 規　５０万円

東北海道エリアの港湾と連携し、海外クルーズ船社へのプロモーションを実施します。

レクリエーション

①レイクサイドパーク・のとろの管理運営《水産漁港課》

１，０２５万円

市民の健康増進と海洋レクリエーションの振興を図り、水に親しみ憩える場として整備した「レイクサイドパーク・のとろ」の施設の管理運営を行います。

水　　産　　業

漁港施設の整備

①呼人漁港の施設整備《水産漁港課》

２，１４９万円

北海道が行う呼人漁港のけい留施設及び輸送道路に係る整備費の一部を負担します。

沿岸漁業の対策

①沿岸浅海域の漁場造成と資源調査

《水産漁港課》　２０５万円

ウニ、ナマコなどの浅海域漁業資源の漁場造成と資源調査に対する支援を行い、漁業生産の安定化を目指します。

②さけ・オホーツクサーモン資源の安定化

《水産漁港課》　９５万円

さけ・オホーツクサーモン（カラフトマス）の稚魚の分布や成育調査に対する支援を行い、資源の安定化を図ります。

内水面漁業の対策

①網走湖水質・資源調査の実施

《水産漁港課》　新 規　２５０万円

網走湖の漁業安定化のために湖内環境及び漁業資源に関する調査を支援します。

②能取湖水質・資源調査の実施

《水産漁港課》　新 規　２５０万円

能取湖の漁業安定化のために湖内環境及び漁業資源に関する調査を支援します。

新資源開発に向けた試験研究

①ナマコ中間育成の試験

《水産漁港課》　５０万円

ナマコの増殖事業の実現に向けて、中間育成技術の確立を目指します。

②水産飼育試験施設の整備

《水産漁港課》　新 規　５，４３６万円

有用水産資源の増養殖などに関する飼育試験を行う施設を更新します。

環境と調和した漁業の推進

①河川等漁場環境の保全

《水産漁港課》　３３万円

「網走川流域の会」が進める流域連携による環境保全等ついて積極的に協力を行うなど、漁業環境の保全による漁業の永続的な発展を目指します。

水産物ブランド化の推進

①水産加工品販売戦略構築事業

《水産漁港課》　７２万円

網走市とゆかりのある団体や企業との相互連携（タイアップ）を強め、地場水産物等を幅広くＰＲし、首都圏など大消費地を対象とした“多様な販売戦略”の構築を図ります。

②「流氷明けウニ・カニ」ブランド推進事業

《水産漁港課》　５１万円

「流氷明け」の時期に“特に美味しい”とされるウニやカニなど、早春の食材が豊かな網走市のイメージを広く発信し、地場水産物等の消費拡大や交流人口の増加を図ります。

水産加工業の振興

①北海道ＨＡＣＣＰ導入支援事業

《水産漁港課》　２００万円

北海道ＨＡＣＣＰ認証等の取得を目指す水産加工事業者を支援し、衛生管理体制の向上を図ります。

②水産加工フェスティバルの開催

《水産漁港課》　４２万円

地場水産物等を紹介する水産加工フェアを開催し、製品展示や即売会を通じ、市民等に広く周知するとともに製品の普及促進を図ります。

建設部のことしのまちづくり

道路・河川

①市道の整備《都市開発課》

１億４，４００万円

歩行者及び車輌の安全な通行を確保するため、老朽化した歩道や車道、側溝などの改修を緊急度に応じて計画的に進めます。

②通学路の安全対策《都市開発課》

・歩道の整備　８，６００万円

通学路の安全を確保するため、小学校通学路の歩道新設・改修工事を行います。

③冠水対策《都市開発課》

２，６００万円

近年のゲリラ豪雨により多発している道路冠水被害を防止するため、雨水排水を良好にする対策を行います。

④郊外道路の整備《都市開発課》

２，０００万円

スクールバスや農業用車輌の安全な通行を確保するため、郊外地域の未舗装道路の舗装化や、危険箇所の改修を行います。

⑤橋梁の長寿命化《都市開発課》

３，２００万円

道路交通の安全を確保するとともに橋梁の長寿命化を図るため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、優先度の高い橋梁から修繕を行います。

⑥道路ストックの修繕《都市開発課》

５，０００万円

道路交通の安全を確保するため、老朽化した道路施設の点検結果に基づき、適切な維持補修を進めます。

⑦市道等の環境整備《土木管理課》

９，８６４万円

市道等の舗装補修や区画線工事、道路排水改修などを行います。

⑧河川の整備《土木管理課》

拡 充　８，２００万円

市が管理する河川の水防対策など環境整備を行います。

⑨河川等の排水対策《土木管理課》

新 規　２，３９０万円

大雨による冠水被害を防止するため、非常用電源を整備し、迅速な対応を図ります。

公園・緑地

①公園緑化の推進《土木管理課》

３，５０４万円

都市公園等の保全・管理や施設の保守・点検を行い、良好な都市景観の保全に努めます。

②街路樹の維持管理《土木管理課》

１，０２１万円

市道の街路樹の補植・剪定を行い、緑化を進めます。

③地域パークゴルフ場の管理《土木管理課》

３６６万円

地域パークゴルフ場の維持管理を行う町内会に対し、グリーン用種子、肥料等の支援並びに芝生のエアレーションを行い、芝の延命を図ります。

④天都山公園整備事業《都市開発課》

２，３００万円

旧流氷館跡地を緑化するとともに、自然とのふれあいの場を整備します。

⑤網走川筋環境整備事業《都市開発課》

新 規　２００万円

網走川沿いの賑わいを創出するため、案内板及び照明の設置場所やデザインを検討します。

住　　宅

①市営住宅建設事業　《建築課》

拡 充　６億９，７１７万円

老朽化により建替を進めているつくしヶ丘第２団地で２棟目（１棟５０戸）の建設工事を進めます。完成は平成３０年度の予定です。

②住宅リフォーム資金貸付・保証料補助

《建築課》　２億８，１０４万円

バリアフリーや居住環境の向上を促進するため、住宅をリフォーム（増改築や修繕）する市民を対象に、リフォーム資金を低利で貸し付け、融資保証料を補助します。

（１戸につき５００万円を限度、利率１％）

③住環境改善補助金　《建築課》

１，０００万円

住宅リフォーム資金貸付の対象にならない世帯や子育て世帯の支援を目的に、長寿命化、省エネ、バリアフリーなどの居住の向上を図る改修に対して工事費の一部を補助します。

・補助率は１０％で限度額は次のとおり

・一般世帯１０万円、子育て世帯２０万円

・太陽光発電及びペレットストーブの導入は５万円

④省エネ住宅新築促進事業《建築課》

８００万円

低炭素なまちづくりを目的に、省エネ基準を満たす新築住宅の建設に補助します。

（省エネ基準により、１戸２０～５０万円）

⑤空き家バンク事業　《建築課》

２１万円

空き家バンクを活用し、空き家の流通を促進することで危険空き家の増加を防ぎます。

⑥住宅供給計画策定事業　《建築課》

新 規　４００万円

高齢者や子育て世帯の住宅供給量の検討と併せ、市営住宅管理戸数や整備手法等の検討を行います。

生　活　安　全

①公共施設耐震化検討事業　《建築課》

新 規　１，８００万円

市役所本庁舎、西庁舎、総合体育館、市民会館及び消防本部庁舎の耐震化に係る総合的な検討を行います。

②公共施設長寿命化点検事業　《建築課》

新 規　１，７３７万円

公共施設の点検を強化し、施設の安全確保と長寿命化を図ります。

雪　対　策

①市道等の除雪《土木管理課》

・市道等の除雪

１億９，２０６万円

冬期間の市民の暮らしと交通を確保するため、市道５８１．１ｋｍのうち、４２０．１ｋｍと市道以外の道路４７．８ｋｍの除雪を行います。

・ロードヒーティングの維持・管理

８，５９５万円

市道２４路線５４ヵ所の車道・歩道のロードヒーティングを維持管理することにより、冬期間の安全な交通を確保します。

・除雪作業車の更新

３，２１１万円

老朽化した除雪ドーザを更新します。

②ロードヒーティングの整備

《都市開発課》　４，２００万円

冬期間の交通の安全を確保するため、老朽化したロードヒーティング施設の更新を計画的に進めます。

学校教育部のことしのまちづくり

学　校　教　育

①小中学校図書の整備《管理課》

６６９万円

各小中学校の図書館図書の整備を行います。

②小中学校図書館司書の配置《管理課》

拡　充　１，０１９万円

学校図書館に専門的な資格を有する司書を１名増員し、４名体制で図書の分類・整理など読書環境の推進を図ります。

③英語指導助手（ＡＬＴ）の配置《管理課》

４８１万円

海外からの英語指導助手を招へいし、中学校における英語授業の補助、特別活動や課外授業の協力により、英語教育の充実と国際理解教育を進めます。

④学校施設の環境整備《管理課》

拡　充　４，４２８万円

アスベストを含有する中学校４校の屋体暖房用煙突の改修工事を実施し、学校施設の環境整備を図ります。

⑤ＩＣＴ教育環境の整備《管理課》

新　規　１，０５４万円

各中学校すべての普通教室に実物投影機と大型テレビを配置し、わかりやすい授業づくりを推進します。

⑥教育相談カウンセラーの配置《管理課》

新　規　２２１万円

専門的な知識を持つカウンセラー１名を市が独自で配置することにより、児童生徒が相談できる機会を増やし、きめ細やかな指導により問題の早期発見、解消を図ります。

⑦特別支援教育支援員の増員《管理課》

拡　充　２，７１７万円

通常学級や特別支援学級に在籍する、様々な障がいを持つ子どもたちの学校生活や学習活動上のサポートを行う支援員を２名増員します。

小学校では２０名、中学校では３名、計２３名の配置となります。

⑧学習支援員の増員《管理課》

拡　充　１，６９３万円

算数及び数学の基礎基本の確かな定着を図るため、小学校に学習支援員を１名増員します。

小学校では４名、中学校では２名、計６名の配置となります。

⑨吹奏楽楽器の整備《管理課》

３４５万円

市内小中学校の吹奏楽活動において、老朽化した楽器の更新整備を図ります。

⑩読書感想文コンクールの開催《管理課》

３１万円

小中学生を対象に読書感想文コンクールを開催し、読書の習慣化や自分の考えを文章で表現する力の向上を図ります。

⑪学習サポート（あばしり寺子屋）《管理課》

１０万円

低学年からの学習習慣を確立するため、小学１年生から３年生を対象に、東京農業大学の学生等による土曜日学習サポートを年６回実施します。

⑫子ども体力づくりサポート《管理課》

３２万円

小学校の体育授業において、日本体育大学の指導者・学生等のサポートによる授業を行い、体力向上を図ります。

社会教育部のことしのまちづくり

社　会　教　育

①幼児・小学生のための英会話指導

《社会教育課》　４３６万円

幼児や小学生のうちから外国人や英語に慣れ親しむため、英会話指導員を配置し、教室へ出向いてゲームやレクリエーションを通した英会話指導を行います。

②放課後子ども教室【遊村あばしり】の開設《社会教育課》　７５９万円

放課後や週末に、安全・安心な子どもの居場所を開設し、地域の大人を指導者として、様々な体験・交流活動を行う教室を市内各所に開設します。

③学校支援地域本部事業《社会教育課》　１３１万円

学校での教育活動を市民のボランティアが支え子どもの教育に関わることで、学校教育の充実と地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えます。

④子どもと動物ふれあい事業

《社会教育課》　９６万円

小動物とふれあい、生命を大切にする心や豊かな情操を育むため、６月から９月まで呼人スポーツ・トレーニングフィールド等で「ふれあい動物園」を開催します。

⑤子どもフェスティバル事業

《社会教育課》　３９万円

科学する心を育むため、市民が連携して子ども達のために楽しい実験や体験などを提供します。

⑥あばしり学講座《社会教育課》　４８万円

網走の魅力・価値を発見、再確認し、未来を創造できるよう、自然・文化・歴史・経済・産業など様々な学びを「あばしり学」として展開します。

⑦北海道科学大学連携講座《社会教育課》　０円

北海道科学大学と連携して、子どもから大人まで幅広く学ぶことができる公開講座を開催します。

⑧中学生・高校生への自習室の開設

《社会教育課》　０円

学習支援や居場所づくりのため、学校の試験前などにエコーセンター2000 の空き部屋を自習室として開放します。

市　民　文　化

①ふるさとアーティスト公演事業

《社会教育課》　拡 充　３５０万円

網走市にゆかりのある多彩なアーティストの発表の場を提供し、市民との交流を深めることで、優れた芸術文化の専門家たちの活動拠点となるような環境づくりを目指します。

②芸術文化合宿事業補助金《社会教育課》　拡 充　６０万円

芸術系の大学、吹奏楽団体などが行う、市内での合宿活動や市内芸術文化関係者との交流活動を支援します。

③エコーセンター2000 芸術文化事業

《社会教育課》　６１５万円

市民の企画提案を受け入れながら、さまざまな芸術文化公演の鑑賞機会を提供します。

④子ども夢育事業《社会教育課》　新 規　３００万円

市制施行７０年を記念し、市内中学生を対象に「夢を持って生きること」の大切さを学び、感性豊かな心を育むことで、たくましく生きる力を形成するため、夢や人生、命などをテーマにした文化講演などを開催します。

⑤蔚山文化交流事業補助金

《社会教育課》　新 規　１００万円

蔚山広域市南区との友好パートナーシップ協定５周年を記念して実施する、文化連盟と蔚山広域市南区文化院との芸術文化交流事業に対して支援します。

⑥読書活動の推進《図書館》　５８万円

図書館まつりや読書週間記念イベントの開催など読書活動促進のための各種事業を実施します。

⑦美術館企画展の開催《美術館》

拡 充　９０８万円

市制施行７０年及び、開館４５周年を記念して、漫画家「安彦良和展」と安井賞展で活躍した洋画家「玉川信一展」などを開催します。

⑧若手アーティストの応援《美術館》

新 規　４０万円

若手アーティストの作品を収集し、市内の公共施設や屋外に展示します。

⑨美術館の環境整備《美術館》

拡 充　１，０１５万円

アスベストを含有する美術館の暖房用煙突の改修工事を実施し、美術館施設の環境整備を図ります。

⑩博物館重要文化財指定推進事業

《博物館》　拡 充　１０３万円

博物館建物の重要文化財指定を目指し、展示室を整備します。

⑪博物館網走監獄耐震診断補助金

《博物館》　新 規　１００万円

博物館網走監獄の重要文化財建造物の耐震診断に対して支援します。

スポーツ・レクリエーション

①スポーツイベントの支援《スポーツ課》

- 各種全道大会補助（5 大会）　１２４万円
- オホーツク歩くスキーの集い　３０万円
- ホクレン・ディスタンスチャレンジ網走大会　２００万円

②スポーツ合宿の誘致・受入《スポーツ課》

９５０万円

スポーツによる明るいまちづくりや地域の活性化を図るため、スポーツ合宿の誘致・受入れやスポーツ教室等の開催を行います。

③「夢の教室」開催事業《スポーツ課》

２３０万円

現役スポーツ選手などが、「夢先生」として学校を訪問し講義、実技を行う教室を全小学校で開催します。

④障がい者スポーツの推進事業

《スポーツ課》　新規（補正）　１９３万円

障がい者スポーツのすそ野を広げるため、関係機関による連携会議を設置し、障がい者スポーツ教室の開催や障がい者スポーツ指導者の資格取得を支援するほか、障がい者スポーツの合宿の誘致・受入を行います。

- 連携会議設置　５万円
- 教室開催　１２８万円
- 合宿誘致　６０万円

⑤日体大屋内直線走路利用促進事業

《スポーツ課》　新規（補正）　５０万円

日体大附属高等支援学校の屋内走路の利用促進を図ります。

⑥日体大連携スポーツ教室開催事業

《スポーツ課》　新規（補正）　４５万円

日体大と連携し、スポーツ選手や指導者を講師として招き、市内の指導者等を育成するスポーツ教室を開催します。

⑦体育施設の環境整備《スポーツ課》

新 規　２，９７０万円

総合体育館及びスポーツ・トレーニングフィールドのトイレ環境を整備します。また、総合体育館では、併せてフットサル大会の誘致に向けた環境整備を行います。

⑧テニスコートの整備《スポーツ課》

新 規　８，１３０万円

テニスコート全１６面のうち、８面の人工芝を張替します。

水道部のことしのまちづくり

水　　道

①水道施設の整備　《施設課》

３億１，１８３万円

安全で大切な水を、無駄なく安定して各家庭に届けるため、導水管の布設替、配水管の取替などを行います。

・導水管布設替（撤去）　　１地区
（東藻琴西倉地区）

・配水管布設
　給水不良地区解消　　１地区

・配水管布設替
　都市整備関連　　５地区
　漏水防止対策　　６地区

②飲料水の衛生確保　《施設課》

１０３万円

市内飲用井戸水の衛生確保と生活環境の向上のため、井戸水浄水器の設置者に設置費用の一部を助成します。

下　水　道

①下水道施設の整備《下水道課》

・浄化センター等の施設整備

５億３，２９１万円

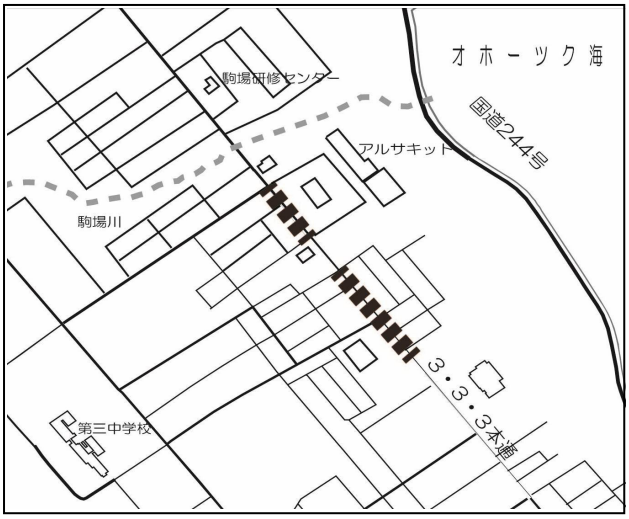
老朽化した浄化センター、スラッジセンター、汚水管渠施設を改築・更新します

・枝線の整備、公共桝の設置

７，４４０万円

・冠水対策事業　　**４，４２４万円**

近年の集中豪雨による冠水対策として、つくしヶ丘本通線の雨水管渠の整備を行います。



②地方公営企業法適用の推進《下水道課》

１，３９２万円

平成３２年度の地方公営企業法適用に向けて、固定資産台帳の整備を行います。

③消化ガス発電施設整備事業《下水道課》

新 規　２億３１０万円

汚泥処理する工程で発生する消化ガスを利用した発電施設を整備します。

環 境 衛 生

①下水道計画区域外の排水処理《下水道課》

２，０９０万円

下水道計画区域外で、トイレの水洗化と生活雑排水の処理を併せてできる「合併処理浄化槽」を整備します。